



所沢市議会議員

VOL 90 令和7年新春号

だれ一人見捨てない政治。



赤川ようじの 市政レポート

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25

TEL:04-2947-3965 FAX:04-2947-3966 メール:tokorozawa@y-akagawa.jp

赤川ようじ公式ホームページ

y-akagawa.jp



年頭のごあいさつ



令和7年、年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。昨年の元旦は能登大地震に始まり、猛暑、豪雨、総選挙もあり、慌しい一年でした。今年は穏やかな一年であること心より願っております。

さて日本は30年間続くデフレ不況の中、コロナによるダブルショック、天井を知らない物価高騰、日本だけが給料は上がらず、年金は下がる厳しい状況が続いています。これも長年先送りしてきた経済対策など政治の責任だと思えます。今年は巳年、この年は変革の年と言われています。今年こそ政治が変わり、国民の生活を取り戻す一年となるように地元地域から一步、一步変えていきたいと思えます。どうぞ今年一年またご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

令和7年新春 市議会議員 赤川 洋二

12月議会報告

国民健康保険税値上げに反対しました。

平成30年から国民健康保険は保険者が市から県に移り、後期高齢者医療保険ともども広域化事業が行われています。国民健康保制度は加入者は年々減り、高齢化が進んで、非常に厳しい運営が行われています。特に今回は賦課方式がこれまで「所得割」「資産割」「均等割」「平等割」だったのが「所得割」「均等割」の2方式に変更になるもので、資産を持つ世帯の負担は減りますが、子育て世帯など家族が多い世帯の負担が増える傾向になります。国民健康保険は最後のセイフティーネット、高額医療などこれから益々負担が多くなります。利用者に負担を一方的に転嫁するのではなく、国の支援金を増やすべきことを委員会で主張しました。これから後期高齢者の保険料値上げも行われます。今、物価高で市民生活は窮地にあります。これからも社会保険料の減免を訴えていきます。

★ 中核市とまちづくり

2030年4月に向け、所沢市は中核市移行に向けて進んでいますが、市民には何のために中核市にするのか伝わっていない。「所沢市を日本一のまち」にするために手段として中核市が必要なことを市民に今伝えてほしいと質しました。市長はコロナで判明したように、中核市になると保健所を設置でき、産業廃棄物の許可、高齢者施設の許可、障がい者の認定など様々な権限を持つことで市民の生命と財産を守り、「所沢市を日本一のまち」にするために中核市は必要だとの答弁でした。保健所は2030年4月オープンに向け、これから新しい所沢に向け進んでいきます。



★ 格差是正～教育の格差について

市長は「学校給食の無償化」「18歳までの医療費の無償化」など教育の無償化に取り組んでいますが、市長の教育の格差に対する考えを質しました。またさらに「学童クラブ」の無償化など市でできる範囲の無償化の拡大は考えていないのか質しました。拡大については財政事情により考えていきたいとの答弁でした。

★ 高齢者・障がい者の支援

市長は「高齢者行事」や「老人憩いの家の風呂」の廃止など行っているが、これから高齢者にどのような支援を考えているのか質しました。高齢者・障がい者の支援には対象者の声に耳を傾けるためアンケートの実施を求めました。これから計画を立てるにあたり、アンケートを実施していくとの答弁でした。

★ 待機児童ゼロに向けて

所沢市の大きな課題、保育・学童の待機児童問題について市長はいつ「ゼロ宣言」出すつもりなのか質しました。「毎年ゼロ宣言」を出せるように全力で取り組んでいくとの答弁でした。所沢市を子育て世代から選ばれるまちにするため、一時も早くゼロ宣言を行い、「日本一子どもを大切にすまち宣言」に向かっていきます。

市政報告会を開催します。

日時 2025年1月25日（土） 午後2時～

場所 新所沢コミュニティセンター 2階 大会議室

